

令和8年度 後期 151美術 I

- 1 使用教科書 「新・高校生の美術1」(日本文教出版)
- 2 使用学習書 「高校生の美術1」(全国高等学校通信制教育研究会)
- 3 使用教室 美術室
- 4 提出期限・面接指導等

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	面接指導実施日				
1	10/14(水)	マークやサインのデザイン 「視覚で伝える」	4, 14	P58～P61、 P138、P151～ P152	9/17	9/24	10/4	10/5	10/5
2	11/18(水)	鑑賞 日本美術	3, 9	P40～P47	10/22	11/1	11/1	11/12	11/12
3	12/16(水)	内面を見つめて	5, 6	P32～P35	11/26	11/29	12/6	12/6	

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-151-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ①「教科書」、「氏名バーコードシール」「スケッチボックス」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ②携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れたままにしないこと。
- ③面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④★各レポートには、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、15点満点で採点します。
- ⑤制作課題がある場合、制作課題は必ず現物を提出すること。作品現物とレポートの両方が提出されないと提出されたとはみなしません。
- ⑥必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。

※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は美術Iの場合、「レポート中の主体的に学習に取り組む態度」の評価問題：面接指導：その他＝30：10：60」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度 後期 152美術Ⅱ(1)

- 1 使用教科書 「高校生の美術2」(日本文教出版)
- 2 使用学習書 「なし」
- 3 使用教室 美術室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	教科書ページ	面接指導実施日			
1	10/14(水)	生物を空想して	P32～P33	9/17	9/24	10/4	10/4
2	11/18(水)	鑑賞 琳派—継承と創造の系譜—	P22～P29	10/22	11/16	11/16	
3	12/16(水)	デザインがもたらす統一感	P44～45、P68	11/29	12/14	12/14	

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-152-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ①「教科書」、「氏名バーコードシール」「スケッチボックス」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ②携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れたままにしない。
- ③面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④★各レポートには、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、15点満点で採点します。
- ⑤制作課題がある場合、制作課題は必ず現物を提出すること。作品現物とレポートの両方が提出されないと提出されたとはみなしません。
- ⑥必要面接時間は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。

※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は美術Ⅱ(1)の場合、「レポート中の主体的に学習に取り組む態度」の評価問題：面接指導：その他＝30：10：60として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度 後期 153美術Ⅱ（2）

- 1 使用教科書 「高校生の美術2」（日本文教出版）
- 2 使用学習書 「なし」
- 3 使用教室 美術室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	教科書ページ	面接指導実施日			
1	10/14(水)	ものの質感を生かして	P10～P11	9/13	9/17	10/5	10/5
2	11/18(水)	行為を誘うデザイン	P46～P47	10/19	11/16	11/16	
3	12/16(水)	人物のイメージや心情を捉える	P12～P13	11/26	12/14	12/14	

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること（代筆）は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が5.9点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル（ファイル名は「登録番号-153-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が5.9点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律6.0点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して（または電話で）直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います（通信制の休日を除く）。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」「スケッチボックス」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物（ペットボトルなど）と共にきちんとカバンに入れ、机上（机の中）やポケットの中に入れておかないでください。
- ③ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④ ★各レポートには、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。
⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、1.5点満点で採点します。
- ⑤ 制作課題がある場合、制作課題は必ず現物を提出すること。作品現物とレポートの両方が提出されないと提出されたとはみなしません。
- ⑥ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。

※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は美術Ⅱ（1）の場合、「レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導：その他＝3.0：1.0：6.0」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

NHKテレビ 高校講座 美術 I

2026 年度 年間放送計画表

Eテレ 金曜日・隔週放送 午前 11：10～11：30

※ この番組は、前年度の再放送です。
※ 放送時刻は放送局や地域放送などで変更になる場合があります。
※ その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/17	1 アートって何？	●アートの役割 ●デザインとデュジャーン ●器用さとアート
5/ 1	2 美術館	●美術館の役割 芸芸員の役割 ●新しい美術館コンセプト
15	3 鑑賞	●美術の約束事 ●鑑賞を楽しむ手がかり ●約束事に沿って鑑賞する
29	4 色彩と感情	●色彩から受ける印象 ●色の見え方の違い ●色の組み合わせ
6/12	5 光と影	●光と影から受ける印象 ●光と影の関係 ●レノンフランクライダイベンズ
26	6 人を描く	●人体を知る ●文化によって異なる人の描き方 ●特徴を見つけ、誇張して描く
7/10	7 風景を描く	●視点 ●遠近法 ●透視図法
24	8 建築と美術	●建築の美しさ ●建築設計とは ●震災と建築
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全4年から選んだ質問のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		
9/ 4	9 日本美術	●カワイイアート ●琳派 ●ジャポニスム
18	10 複製	●本物と複製 ●複製美術の歴史 ●現代の複製美術
10/ 2	11 写真と絵画	●写真がアートを変えた ●写真を作る ●記録する
16	12 アートとジェンダー	●性を描く ●鑑賞を持った女性たち ●SDGs とアート
30	13 テクノロジー	●「動くアート」からの発展 ●デジタル技術の登場 ●アナログとデジタルの融合
11/13	14 文字	●文字のデザイン ●文字でデザイン ●伝わるデザイン
27	15 プロダクトデザイン	●プロダクトデザインとは ●機能性とデザイン性 ●誰のためのデザイン？
12/11	16 マンガとアニメーション	●絵を描きたい！ ●画と文字で表現する ●アニメーションとは
25	17 映像	●アート作品としての映像 ●映像表現を楽しむ ●イメージを助いで表現する

※ 「タイトル／学習のポイント」は、
制作の都合で変更される場合があります。

冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) ※12月31日～1月3日は休止です。		高校講座全4年から選んだ質問のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。
1/22	18 社会とアート	●地域と芸術 ●アートプロジェクト ●市民参加のアート制作
2/ 5	19 アートとSDGs	●問題を考えるアート ●アートは何を訴えるか
19	20 これからの美術	●命や生活を救うアート ●アートはどこに向かうか ●あなたにとってのアートとは？
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全4年から選んだ質問のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		